

防災 ガイド マップ

遊佐町
【ゆざまち】

保存版



地震



津波



火山災害



風水・土砂



もしもの
災害に備えて!



遊佐町役場

〒999-8301 山形県飽海郡遊佐町遊佐字舞鶴211 TEL : 0234-72-3311 (代表)

ご存じですか? もしもの時の安否確認方法

災害用伝言ダイヤル 171

災害の発生により、通信がつながりにくい状況になった場合に提供が開始される「声の伝言板」です。伝言の録音・再生が可能です。

171 または NTT

ホームページ

<https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/>
※詳しい内容はNTTのホームページで確認してください

災害用伝言板「web171」
も利用できます!

web171は、インターネットを利用して被災地の方の安否確認を行う伝言板です。



安否情報まとめて検索

J-anpi

「電話番号」または「氏名」を入力することで、通信キャリア各社や各企業・団体(自治体等)が提供する「安否情報を一括で検索・確認」できるサイトです。

j-anpi

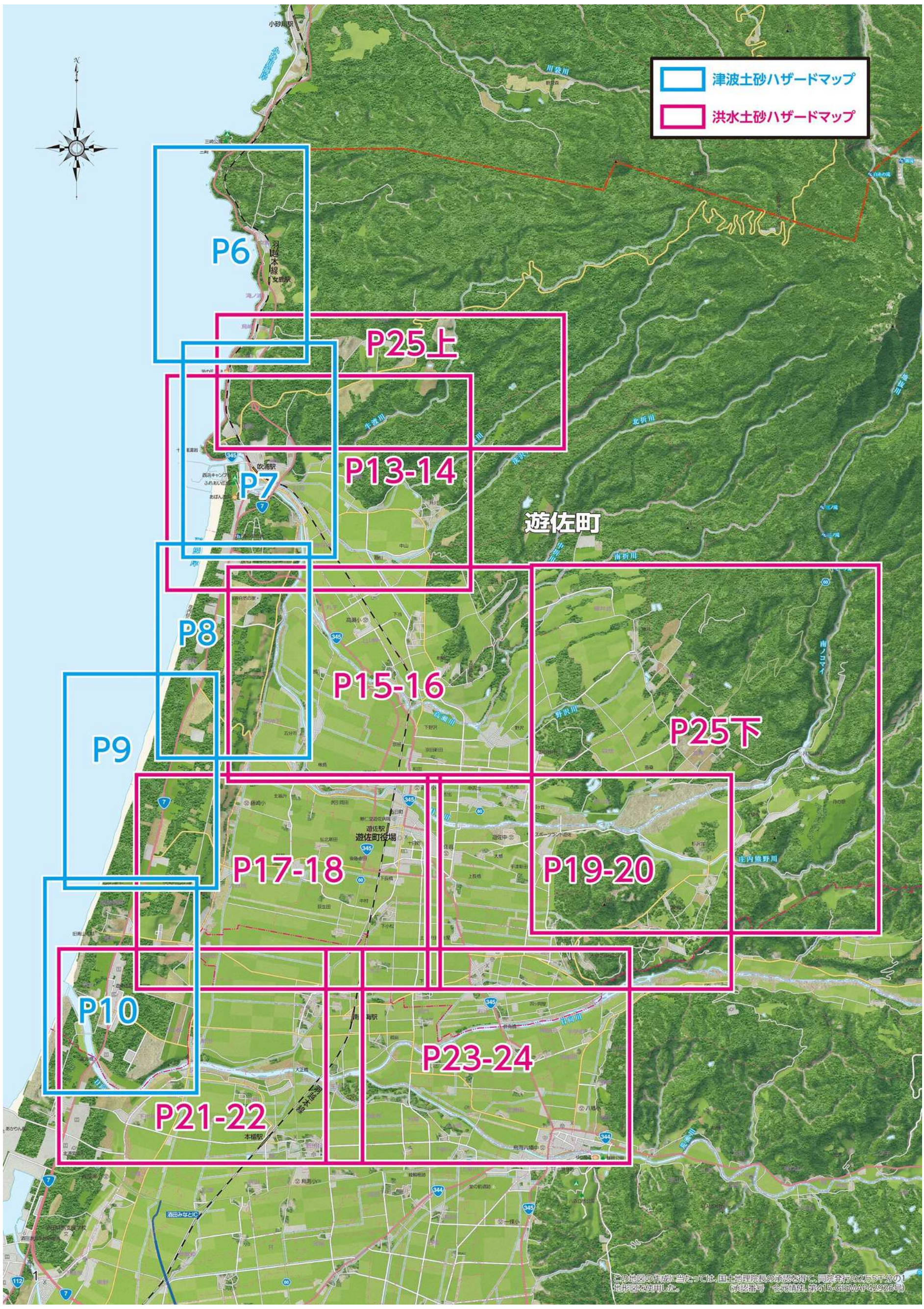
ホームページ
<https://anpi.jp/top>
※詳しい内容はホームページで確認してください



携帯電話災害用伝言板

大規模な災害が発生した場合、携帯電話各社のページに「災害用伝言板」が追加され、自分の安否状態を登録することができます。

※詳しい内容は携帯電話各社のホームページ等で確認してください



 津波土砂ハザードマップ
 洪水土砂ハザードマップ

P6

P25上

P7

P13-14

遊佐町

P8

P15-16

P9

P25下

P17-18

P19-20

P10

P23-24

P21-22

この地区の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。(図形番号 令元情報第415-GISMAP42926号)

●遊佐町防災ガイドマップについて



いつどこで起きるか予想が困難な災害から生き残るためには、町民の皆さん一人ひとりの備えと対応が最も重要となります。

この防災ガイドマップは、災害に備えておくことや災害が起きた時の対処法などをまとめたものです。

日頃から手の届くところにおいていただき、防災と減災のために活用してください。

▶ハザードマップと避難施設についての留意点

- 本ガイドマップには、津波、洪水、土砂災害の3種類のハザードマップが掲載されています。実際に災害が発生した場合に混乱しないように、それぞれの災害にあわせた避難場所・避難所を掲載していますので確認をお願いします。
なお、津波災害を除く地震災害と、火山噴火時の災害が発生した時の避難場所と避難所につきましては、P30の「避難施設一覧表」をご覧ください。
- 「避難場所」とは、災害時において一時的な避難先となる施設や場所のことを指し、「避難所」は、避難が長期化した場合の生活に使用する施設のことを指します。災害が発生した場合、どの場所に避難すればよいか、確認をお願いします。

- ※例1 吹浦地区宿町の津波発生直後の避難場所は「鳥海山大物忌神社吹浦口ノ宮本殿」で、吹浦防災センターは避難場所にはならない。(吹浦防災センターは、避難が長期化した場合に、避難者生活のための避難所として使用します。)
- ※例2 遊佐小学校及びグラウンドは、月光川で洪水が発生した場合の避難所及び避難場所にはならない。(避難者の生活が長期化する場合には、小学校の浸水及び被害状況を確認し、避難所として使用することもあります。)

気象情報から大雨や洪水に備えましょう

テレビ・ラジオ・インターネット等で発表される気象情報を確認するとともに、実際の雨の降り方にも注意しましょう。また、注意報・警報が発表された時には、内水による浸水にも十分注意しましょう。

| | こんな時に発令されます | 雨量基準 |
|-------------------------|------------------------|--------------|
| 大雨注意報 警戒レベル2 | 大雨によって災害が起こる恐れがある場合 | 1時間雨量：40mm以上 |
| 大雨警報 警戒レベル3相当 | 大雨によって重大な災害が起こる恐れがある場合 | 1時間雨量：60mm以上 |
| 洪水注意報 警戒レベル2 | 洪水によって災害が起こる恐れがある場合 | 1時間雨量：40mm以上 |
| 洪水警報 警戒レベル3相当 | 洪水によって重大な災害が起こる恐れがある場合 | 1時間雨量：60mm以上 |

❗ さらに大雨が続くと…土砂災害の恐れが高まります!

土砂災害警戒情報

警戒レベル4相当

土砂災害警戒情報とは、大雨による土砂災害発生のおそれがある時に、市町村長が避難勧告等を発令する際の判断や住民のみなさんの自主避難の参考となるよう、各自治体と気象台が共同で発表する防災情報です。

地震

地震は突然起こります
地震が起きたらどうする!?



地震発生! まず何をする? 地震が起きたときの行動マニュアル

地震発生から
1〜3分

まずはとにかく「身を守る」!!

大きな揺れを感じたり、緊急地震速報を受けたら、まずは自分の身を守り、周囲の状況に応じて揺れがおさまるまで待ちましょう。



屋内では

- 家具・ガラスから離れる。
- 頭を守る。



屋外では

- 倒壊物・落下物に注意
- 係員の指示に従う。
- エレベーターは全てのボタンを押し、停止した階で降りる。



自動車運転中は

- ハザードランプをつけ、徐々に減速し、停車する。



鉄道・バス乗車中は

- 手すりやつり革につかまる。

地震発生から
5分

「揺れ」がおさまったら...

揺れがおさまったら、慌てず落ち着いて行動しましょう。



火元の点検

コンロやガス器具、ストーブ、タバコなど

出口の確保

家の傾きで扉が開かなくなるのを防止

状況の確認

家族や周囲の安全確認・確保を行う。

情報入手する

テレビなどで正しい情報入手する。

地震発生から
数時間

「地域で協力」し合おう!!

隣近所も同じように被災しています。安否確認を行い被害が出ている場合は、協力し合って避難・消火・救出・救護活動を行いましょう。

- 行方不明者の確認
- けが人の救出・救護
- 消火活動
- 要配慮者の手助け



津波警報・注意報がある場合は

「直ちに避難」!!

海岸から「より遠く」、
「より高い場所」に
避難しましょう。

浸水予測外でも安心しない!!



備えあれば患いなし! 地震への備え

▶ わが家の地震対策チェック

地震による被害を減らすために自宅の安全対策について点検しましょう。

住宅の耐震性に不安がある場合は耐震診断※を行い、補強等を実施するようにしましょう。

※1981(昭和56)年5月31日以前に建てられた住宅は耐震性が低いおそれがあります。

ブロック塀・フェンス

□ 破損やひび割れ、ぐらつきはありませんか?



ベランダ

□ 常に整理しておきましょう。

■ 屋根・アンテナ



屋根の破損、アンテナのぐらつきはありませんか?

■ 窓ガラス



飛散防止フィルムを貼りましょう。

■ 玄関まわり

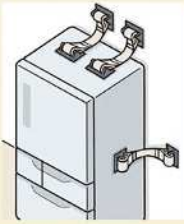


避難しやすいように常に整理しておきましょう。

灯油タンク・プロパンガスボンベ

□ しっかりとチェーン等で固定しましょう。

■ 冷蔵庫



ベルト式ストッパーなどで固定しましょう。

地震時のケガの原因は家具などの転倒によるものも多く、室内の散乱は逃げ遅れの原因にもつながります。家具の配置や固定具合を見直し、安全対策に努めましょう。

背の高い家具や本棚は、L型金具や支え棒などで固定しましょう。重い物は下に、軽い物は上に収納しましょう。

■ テレビ・パソコン



低い位置に置き、耐震粘着マットなどで固定しましょう。

出入口や就寝位置と重ならないように家具を配置しましょう。

家具の上に割れやすい物を置かないようにしましょう。

支え棒



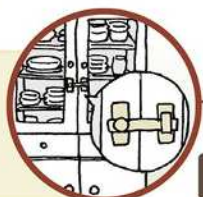
カーテンや寝具などは、防災加工されたものを使用しましょう。

■ 暖房機器



周囲に燃えやすい物を置かないようにしましょう。

扉にはストッパーを、ガラスには飛散防止フィルムを貼りましょう。



扉ストッパー

家具の下に転倒防止ストッパーを置きましょう。

津波【つなみ】波

すばやい避難がなにより大事!

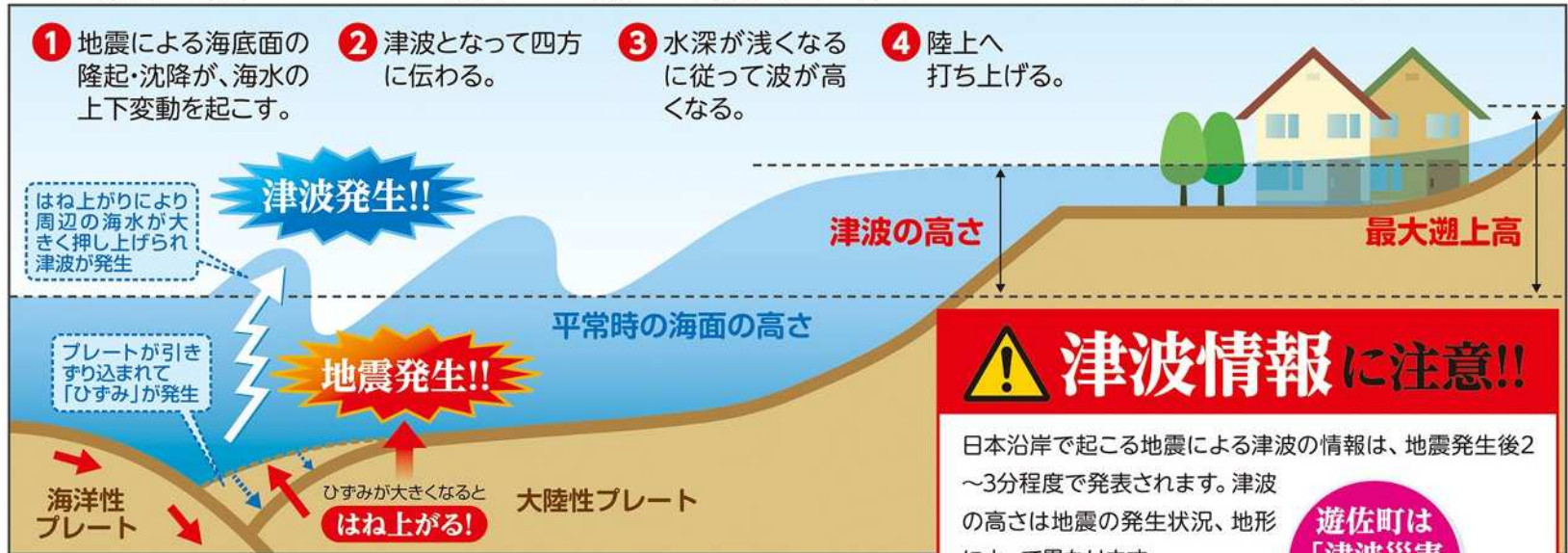
津波が起きたらどうする!?



津波についての予備知識

津波のしくみ

海底で発生した地震に伴う海底の隆起・沈降、地すべりなどが原因で、海水が陸地に押し寄せる現象を「津波」といいます。津波は地震だけではなく、海底での地崩れや海底火山の噴火などによっても引き起こされる場合があります。



- 気象庁が発表する「津波の高さ」とは、津波がない場合の潮位から、津波によって海面が上昇したその高さの差をいいます。
- 津波の高さは、海岸や湾の地形によって予想された数倍に達することがあります。
- 津波が陸地を駆け上がることを遡上といいます。この高さを「遡上高」といい、津波が到達した最も高い地点の標高を「最大遡上高」といいます。

津波情報に注意!!

日本沿岸で起こる地震による津波の情報は、地震発生後2～3分程度で発表されます。津波の高さは地震の発生状況、地形によって異なります。津波情報は予想される津波の高さで津波注意報、警報に分けて発表されますので、津波情報には十分注意して下さい。

遊佐町は「津波災害警戒区域」です



津波の注意点

津波は繰り返し来る!

津波は繰り返し襲ってきて、はじめの波より後に来る波が高くなる場合があります。警報・注意報が解除されるまで避難を続けましょう。

津波のスピードは速い!

津波の速度は海岸付近でも時速36km(秒速10m)程度もあるので、津波を見てから避難をはじめたのでは間に合いません。

津波の高さに注意!

海岸の地形などによって予想された津波の高さを超える津波が発生する場合があります。

引き潮がなくても注意!

津波は引き波ではじまるとは限りません。地震の起こり方や津波の発生した場所によって最初に大きな波が押し寄せる場合があります。

満潮時は要注意!

満潮時は水位が高くなっているので、津波がより大きくなります。

弱い地震でも要注意!

弱い地震でも揺れが長く続いた時などは津波が襲ってくる可能性があります。

津波注意報・警報の種類

| | 発表基準 | 発表される津波の高さ | | 想定される被害と取るべき行動 |
|--------------|--|---|--|---|
| | | 数値での発表(津波の高さ予想の区分) | 巨大地震の場合の発表 | |
| 大津波警報 | 予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合 | 10m超 (10m<予想高さ) 10m (5m<予想高さ≤10m) 5m (3m<予想高さ≤5m) | 巨大 「巨大」予想の場合は、東日本大震災のような津波が襲うおそれがあります。 | 木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。 |
| 津波警報 | 予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合 | 3m (1m<予想高さ≤3m) | 高い | 標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。 |
| 津波注意報 | 予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合 | 1m (0.2m≤予想高さ≤1m) | (表記しない) | 海の中では人は速い流れに巻き込まれ、小型船舶が転覆します。海の中にいる人は直ちに海から上がって、海岸から離れてください。 |



1 説明文

- (1)この図は、2019年3月に本町が山形県から「津波災害警戒区域（イエローゾーン）」に指定されるにあたり、津波防災地域づくりに関する法律に基づき、従来の浸水深ではなく基準水位を用いて、山形県沖で最大クラスの津波が発生した場合の本町の浸水状況をシミュレーションで予測し、その水深を表示した図面です。
 ※浸水深、基準水位については、凡例を参照ください。
- (2)地震の規模、震源地、震源の深さ、海面の状況等により、津波到着区域や水深が想定される浸水区域、基準水位と異なる場合があります。実際に津波が発生した際は、安全確保と情報収集を行いながら、速やかに高台への避難をお願いします。

2 山形県が想定する山形県沖の最大クラスの地震規模

マグニチュード7.8 県沿岸部最大震度6強(山形県津波浸水想定・被害想定調査より)

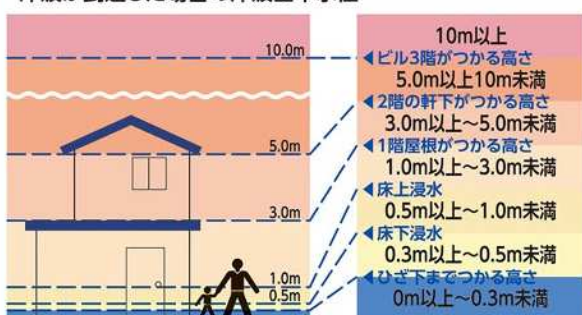
3 遊佐町の海岸線上の津波最高水位と津波到達時間

| ①地区名 | ②津波最高水位(m)※1 | ③+20cmの津波到達時間(分)※2 |
|------|--------------|--------------------|
| 比子 | 9.9 | 9 |
| 菅里 | 9.6 | 9 |
| 吹浦 | 11.2 | 9 |
| 鳥崎 | 11.9 | 9 |
| 女鹿 | 10.7 | 9 |

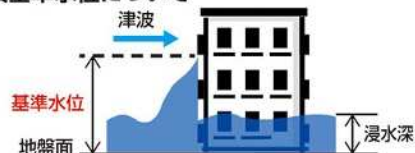
※1 基準水位による最高水位
 ※2 「山形県津波浸水想定・被害想定調査」より、津波断層モデルF34を震源とした場合

津波浸水想定 凡例

津波が到達した場合の津波基準水位



津波基準水位について



基準水位は、津波の浸水予測に基づく浸水深(浸水した場合の地盤面からの高さ)に、建築物等への衝突によって生じる津波の水位の上昇分を加えた水位です。津波が発生した場合の避難場所や避難所の有効な高さの基準となるもので、従来使用していた浸水深に比べ、建物等の影響を反映しているため、より実際の津波浸水に近い詳細な水位です。

避難場所・避難所

- 津波避難場所
一時的な避難先として利用できる施設・場所
- 津波避難ビル
一時的な避難先として利用できる施設・場所
- 避難所
避難の長期化にも対応できる施設
- 防災倉庫
非常食等の災害用備蓄品補完場所

地図凡例

- 町界
 - 鉄道
 - 主要幹線道路
 - 日本海沿岸
 - 東北自動車道予定地
- ### 土砂災害凡例
- 土砂災害特別警戒区域(土石流)
 - 土砂災害警戒区域(土石流)
 - 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
 - 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
 - 避難方向

1 女鹿農村公園

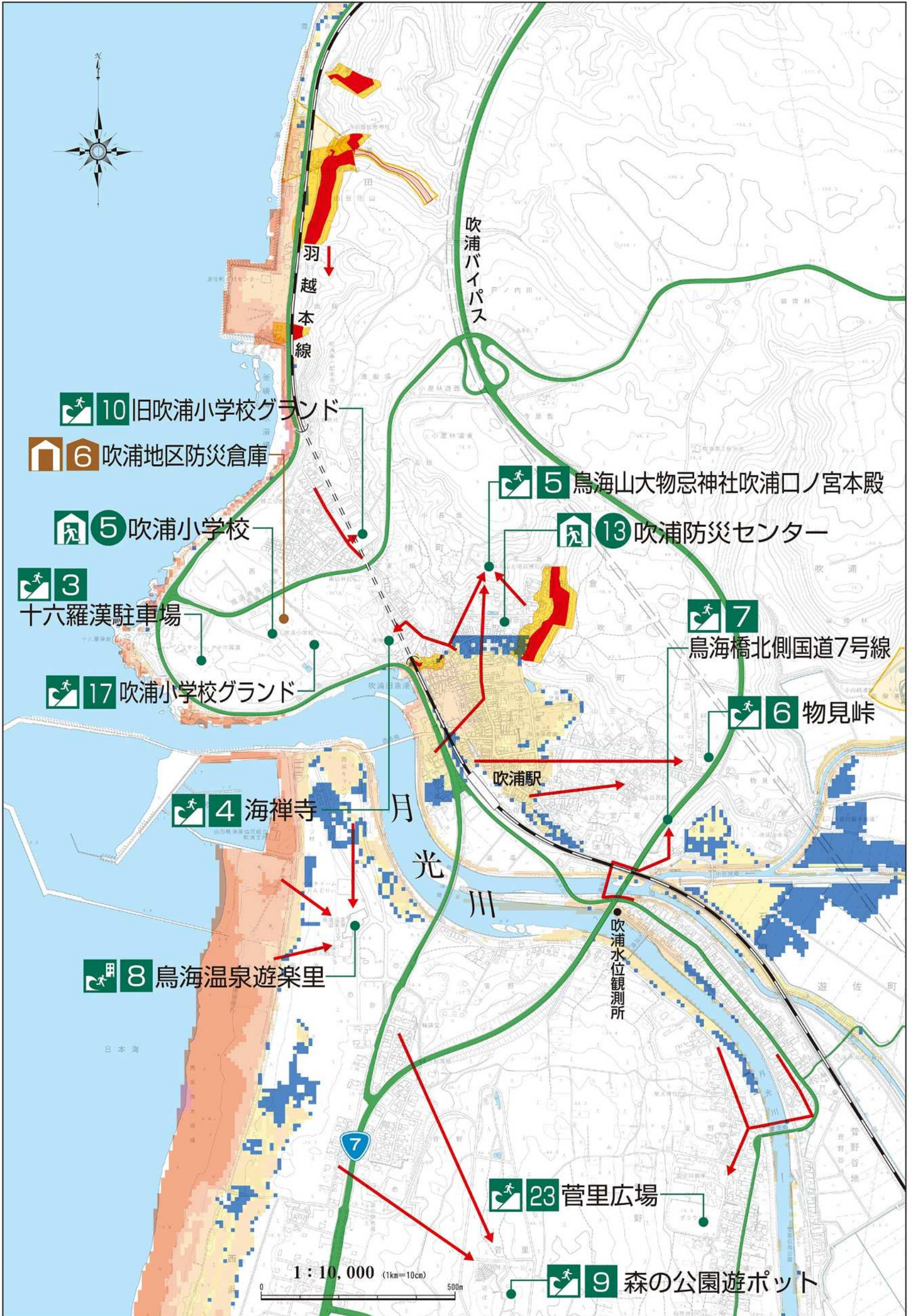
羽越本線

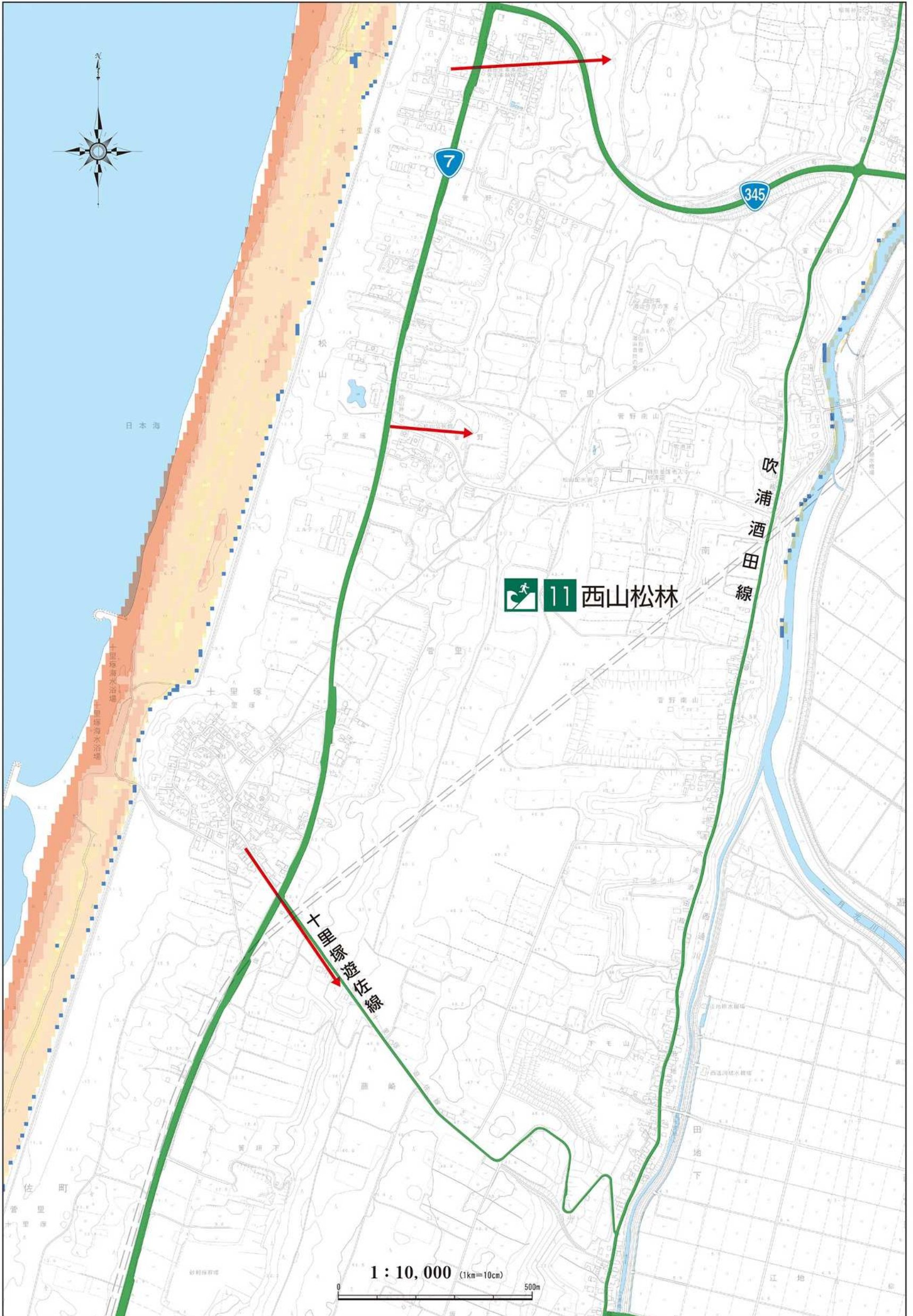
女鹿駅

2 龍泉寺

1 : 10,000 (1km=10cm)













大雨・強風・台風…日頃からの安全対策をしっかりと！！

台風や集中豪雨では強風や激しい雨が降るため、時として家屋への浸水、河川の氾濫、土砂災害など様々な被害が想定されます。日頃の安全対策と、危険が迫ったときの対策を知っておきましょう。

▶ わが家の風水害対策チェック

- アンテナは錆びたりゆるんでいませんか？
- 屋根瓦やトタンがめくれたり、はがれたりしていませんか？
- 窓や網戸のがたつきはありませんか？ 雨戸は閉まりますか？
- 雨どいに枯れ葉や砂がたまっていますか？
- 風で飛ばされそうな庭木はありませんか？
- プロパンガスボンベは、しっかりと固定されているか、配管はぐらついていないか確認しましょう。
- 壁の腐食・浮き・亀裂はありませんか？
- 自転車や植木鉢等は風で飛ばされないよう屋内にしまいましょう。
- ブロック塀は、ぐらついていないか、ひび割れや破損はないか確認しましょう。

危険を感じたら 早めに避難！



天気予報や 気象情報に注意！



不要に外出しない！



こんな
災害
にも注意！

ゴロゴロに要注意！ 落雷！！

- ⚡ 雷鳴が聞こえたらすぐに避難
- ⚡ 建物の中や自動車へ避難
- ⚡ 木や電柱から4m以上離れる。

大雨に注意！ 水の怖さを知ろう

気象庁から記録的短時間大雨情報が発表されるほどの雨が降ると、災害発生危険が高まります。大雨が予想されるときは水辺に近づかないようにし、気象情報に十分注意してください。

遊佐町での水害・土砂災害事例

河川を多く有する本町では、昔から融雪や豪雨により大きな洪水、土砂災害に見舞われてきました。近年では、1996年6月19日の豪雨により、河川流域の地域で浸水や土砂崩れが発生し大きな被害を受けました。本町では、堤防改修や月光川ダムの建設、がけ崩れ工事等の災害防止策が行われてきましたが、急な大規模水害・土砂災害の発生に備え、日頃から準備をお願いします。



吹浦宿町の浸水の様子(1996年6月19日洪水)



箕輪周辺の浸水の様子(1996年6月19日洪水)

歩ける深さは膝下まで！

水深が腰まであったり、浅くても水の流が速い場合は無理をせず、高い場所で救助を待ちましょう。
※水の中を歩ける深さはだいたい30cmです。

車が浸水したらすぐ外へ！

水深が30cmに達すると車のエンジンが停止する可能性があり、水深と流速が増すと車ごと流される危険もあります。

避難に遅れたら…

自宅の2階か近くの頑丈な建物の2階以上に逃げましょう。

避難するときは、ひもで締められる運動靴などを履きましょう！



こんな前ぶれ現象に注意！ 土砂災害から身を守る！！

一般的に土砂災害は、降雨や融雪で地中の水分が増して地盤が緩み、さらに長雨や強雨が続いたときなどに発生するとされています。次のような現象を察知した場合は、直後に土砂災害が起こる可能性がありますので、直ちに周りの人と安全な場所へ避難するとともに、関係機関へ通報してください。

時間的切迫性



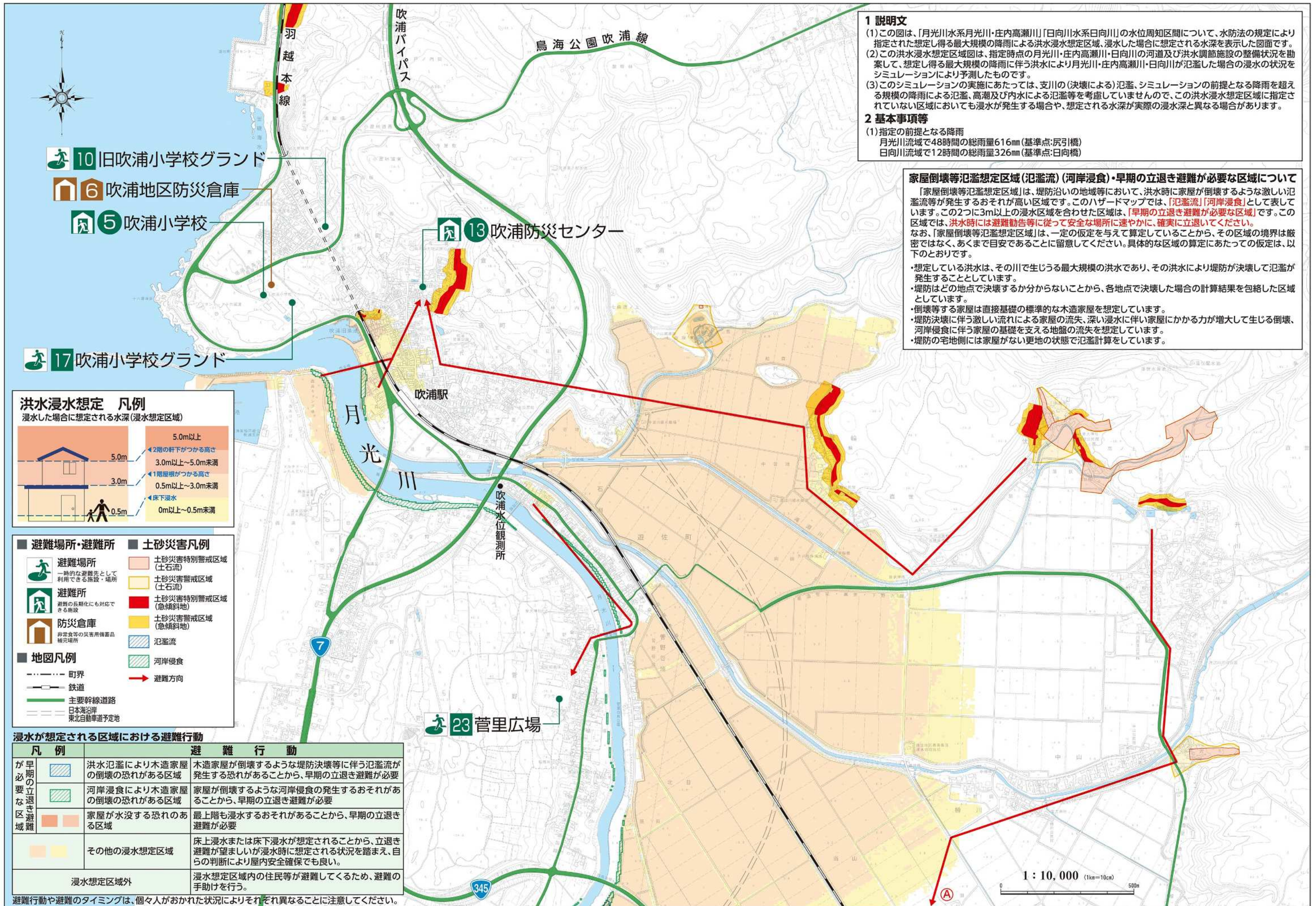
避難の警戒レベル

水害・土砂災害の恐れがある際には、「警戒レベル」を用いた避難情報が発令されます。警戒レベル3・警戒レベル4が発令された際は、地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう！

※レベル5は、すでに災害が発生していることを把握した場合、可能な範囲で発令されます。

※身の危険を感じたときは警戒レベルに関わらず避難してください。また、必ずしも段階的に、レベル1から順に発令されるとは限りません。

| 災害の危険度 | 警戒レベル | 住民がとるべき避難行動 | 避難情報と気象情報 | 情報発信 |
|--------|--------|---------------------------------------|--|---------------------------------|
| 高 | 警戒レベル5 | すでに災害が発生しています 命を守るための最善の行動をとってください | 避難情報 災害発生情報 気象情報 大雨特別警報・氾濫発生情報 | ※気象庁が発表するレベルはあくまで「相当」 市町村が発令 |
| | 警戒レベル4 | 全員 避難 | 避難情報 避難勧告・避難指示(緊急) 気象情報 土砂災害警戒情報・氾濫危険情報 | |
| | 警戒レベル3 | 高齢者 障がい者 乳幼児 と その支援者は避難 その他の住民は準備 | 避難情報 避難準備・高齢者等避難開始 気象情報 大雨・洪水・氾濫 警報情報 | |
| | 警戒レベル2 | 避難に備え、ハザードマップなどにより 自らの避難行動を確認 | 気象情報 大雨・洪水・氾濫 注意報 | 気象庁が発表 |
| 低 | 警戒レベル1 | 防災気象情報などの最新情報に注意するなど、 災害への心がまえを高める | 気象情報 早期注意情報 (警報級の可能性) | |



1 説明文
 (1)この図は、「月光川水系月光川・庄内高瀬川」「日向川水系日向川」の水位周知区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 (2)この洪水浸水想定区域図は、指定時点の月光川・庄内高瀬川・日向川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により月光川・庄内高瀬川・日向川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 (3)このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等
 (1)指定の前提となる降雨
 月光川流域で48時間の総雨量616mm(基準点:尻引橋)
 日向川流域で12時間の総雨量326mm(基準点:日向橋)

家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)(河岸浸食)・早期の立退き避難が必要な区域について
 「家屋倒壊等氾濫想定区域」は、堤防沿いの地域等において、洪水時に家屋が倒壊するような激しい氾濫流等が発生するおそれが高い区域です。このハザードマップでは、「氾濫流」「河岸浸食」として表しています。この2つに3m以上の浸水区域を合わせた区域は、「早期の立退き避難が必要な区域」です。この区域では、洪水時には避難勧告等に従って安全な場所に速やかに、確実に立退いてください。
 なお、「家屋倒壊等氾濫想定区域」は、一定の仮定を与えて算定していることから、その区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意してください。具体的な区域の算定にあたっての仮定は、以下のとおりです。

- ・想定している洪水は、その川で生じる最大規模の洪水であり、その洪水により堤防が決壊して氾濫が発生することとしています。
- ・堤防はどの地点で決壊するか分からないことから、各地点で決壊した場合の計算結果を包摂した区域としています。
- ・倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定しています。
- ・堤防決壊に伴う激しい流れによる家屋の流失、深い浸水に伴い家屋にかかる力が增大して生じる倒壊、河岸浸食に伴う家屋の基礎を支える地盤の流失を想定しています。
- ・堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算をしています。

洪水浸水想定 凡例
 浸水した場合に想定される水深(浸水想定区域)

| | |
|---------------|-------------|
| 5.0m以上 | 2階の軒下がつかる高さ |
| 3.0m以上~5.0m未満 | 1階屋根がつかる高さ |
| 0.5m以上~3.0m未満 | 床下浸水 |
| 0m以上~0.5m未満 | |

避難場所・避難所

- 避難場所: 一時的な避難先として利用できる施設・場所
- 避難所: 避難の長期化にも対応できる施設
- 防災倉庫: 非常食等の災害用備品補充場所

土砂災害凡例

- 土砂災害特別警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)

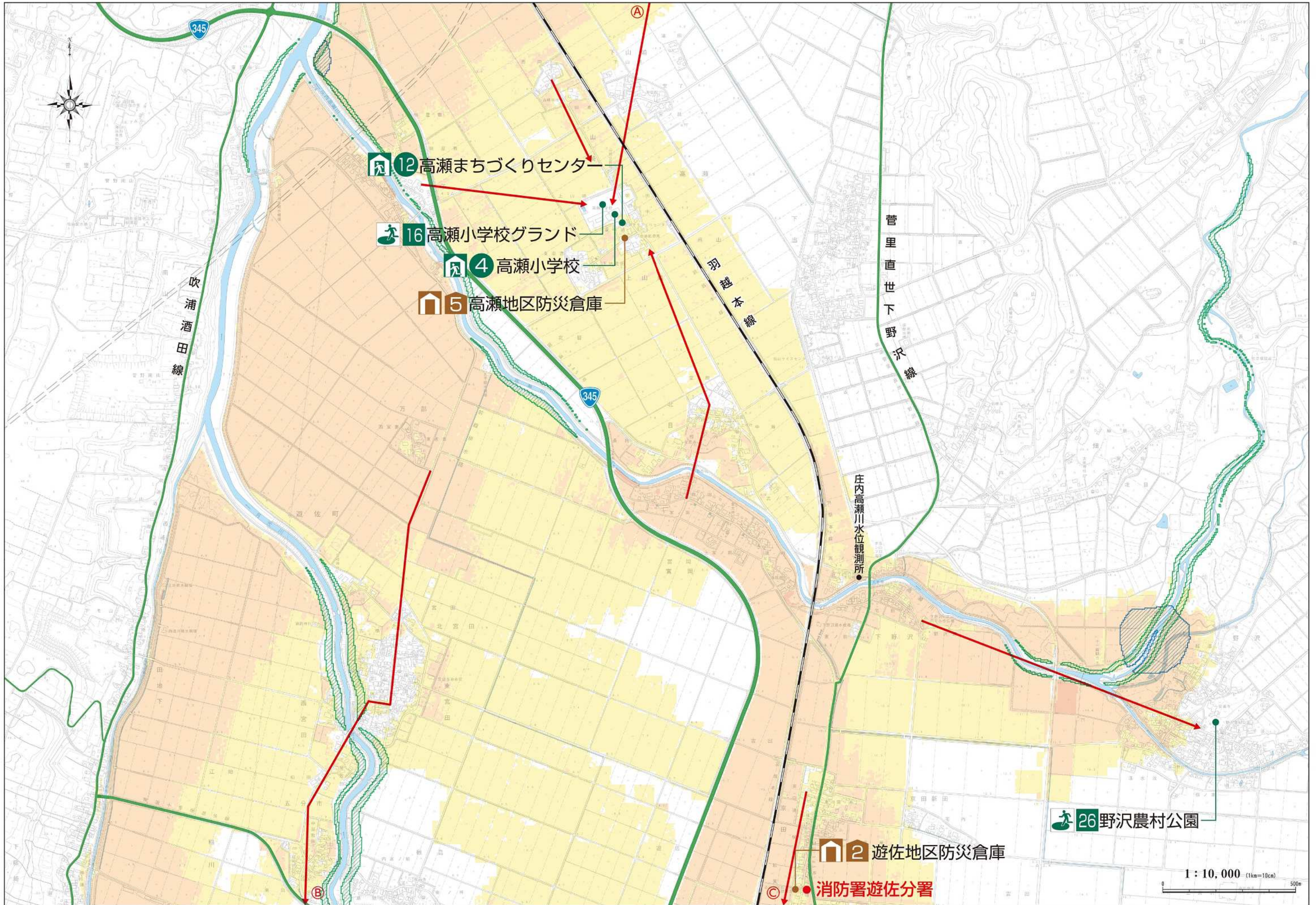
地図凡例

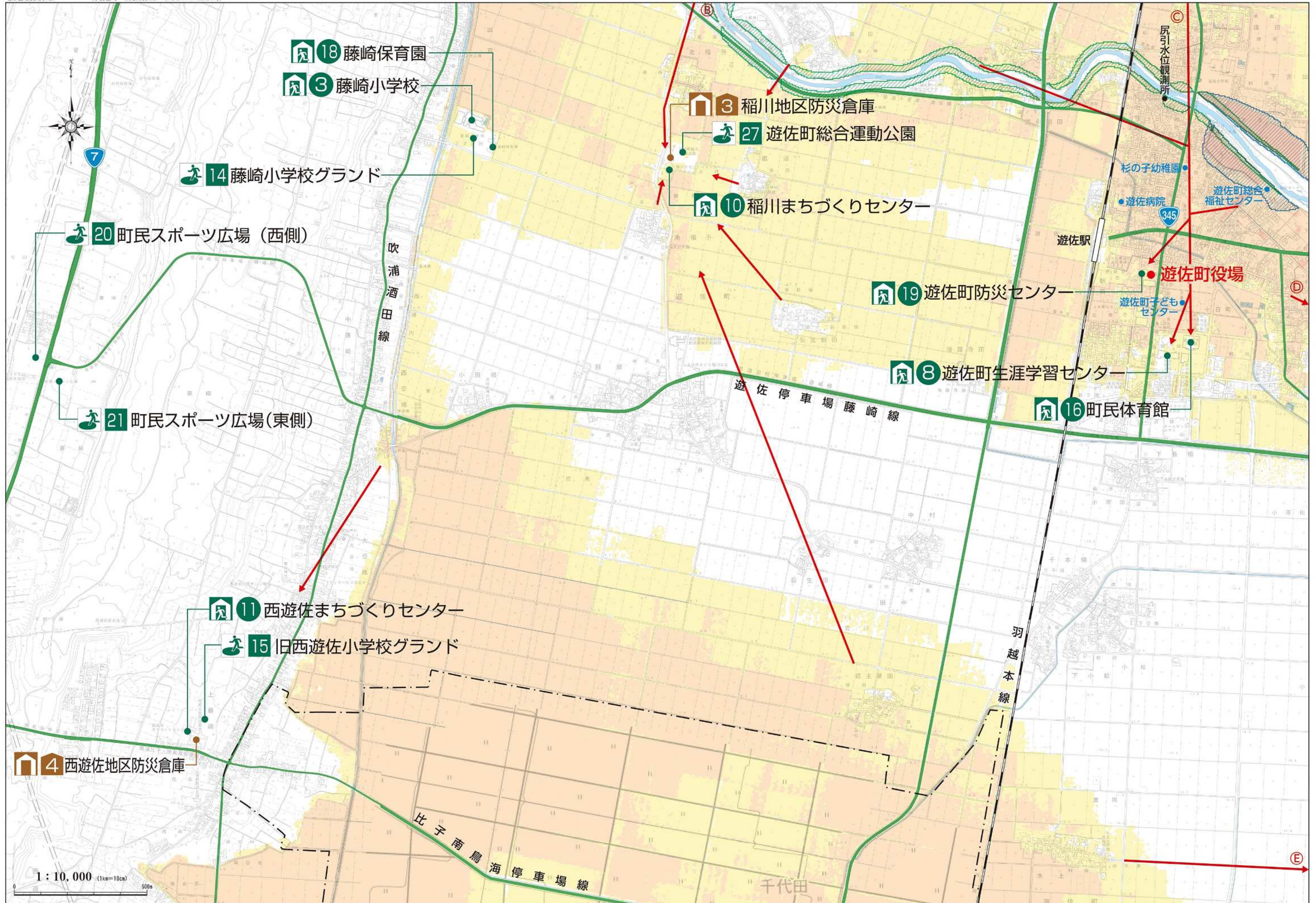
- 町界
- 鉄道
- 主要幹線道路
- 日本海沿岸東北自動車道予定地
- 氾濫流
- 河岸浸食
- 避難方向

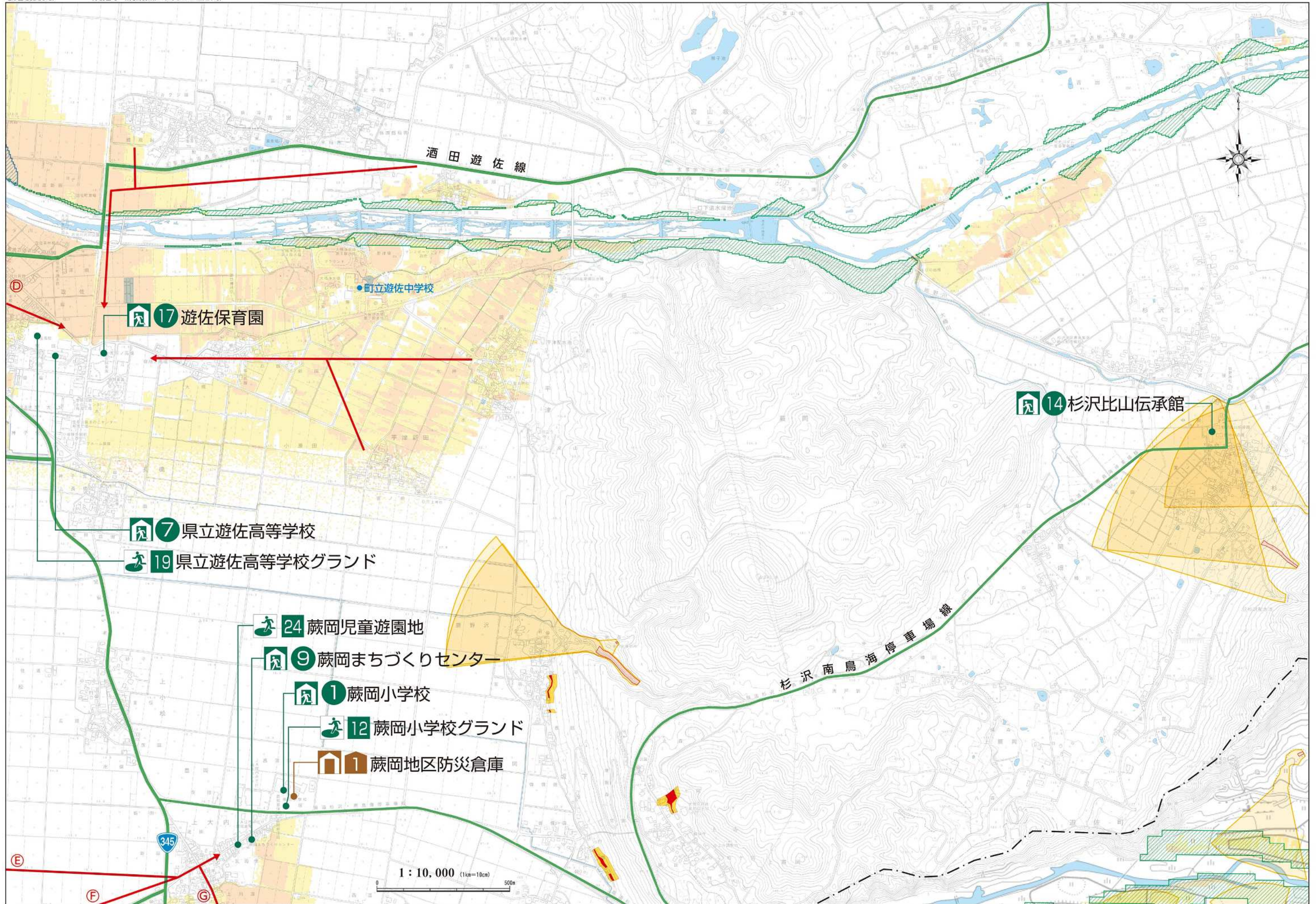
浸水が想定される区域における避難行動

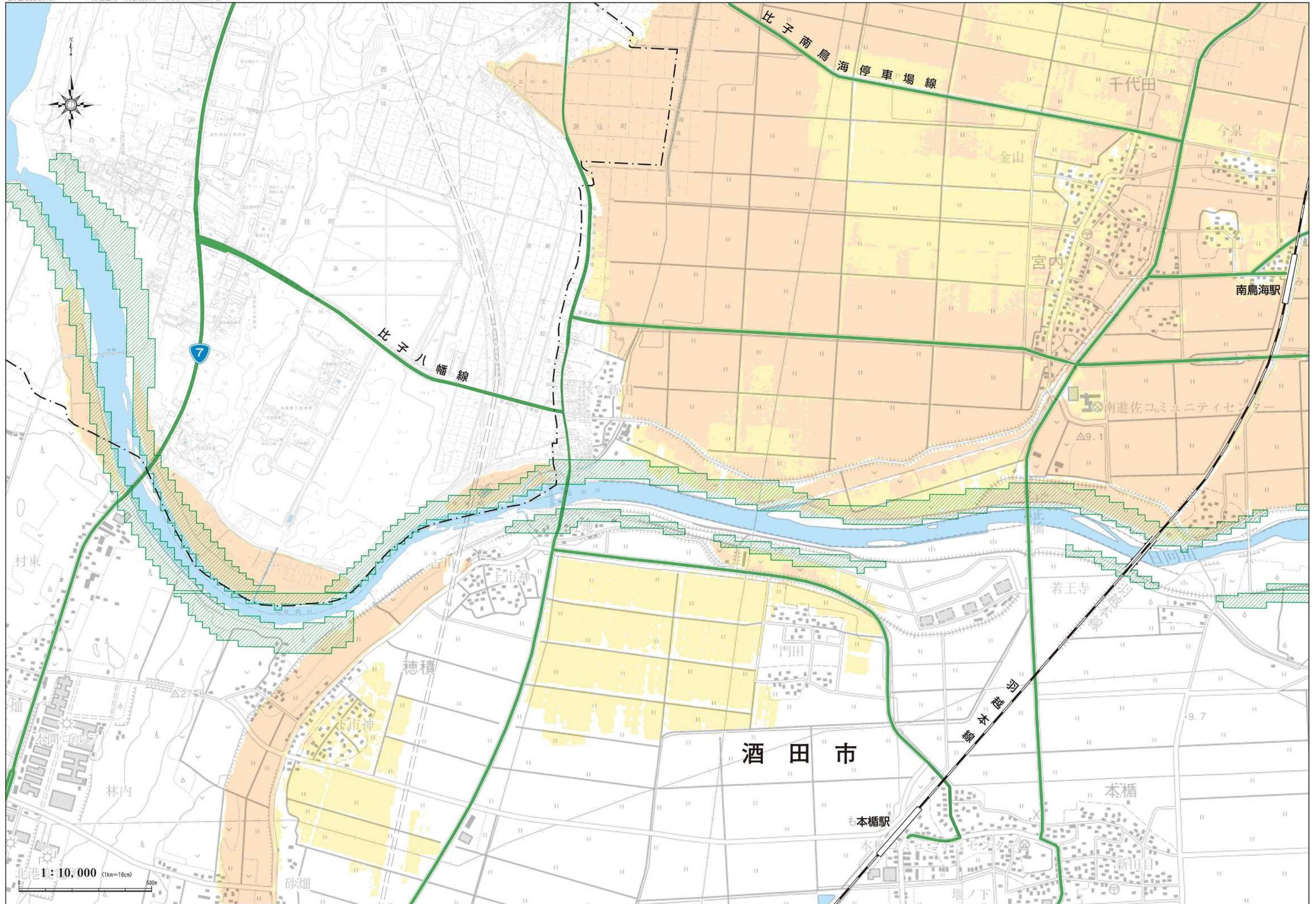
| 凡例 | 避難行動 |
|-----------------|--|
| が早期の立退き避難が必要な区域 | 洪水氾濫により木造家屋の倒壊の恐れがある区域 木造家屋が倒壊するような堤防決壊に伴う氾濫流が発生する恐れがあることから、早期の立退き避難が必要 |
| 避難区域 | 河岸浸食により木造家屋の倒壊の恐れがある区域 家屋が倒壊するような河岸浸食の発生するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要 |
| 避難区域 | 家屋が水没する恐れのある区域 最上階も浸水するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要 |
| 避難区域 | 床下浸水または床下浸水が想定されることから、立退き避難が望ましいが浸水時に想定される状況を踏まえ、自らの判断により屋内安全確保でも良い。 |
| 浸水想定区域外 | 浸水想定区域内の住民等が避難してくるため、避難の手助けを行う。 |

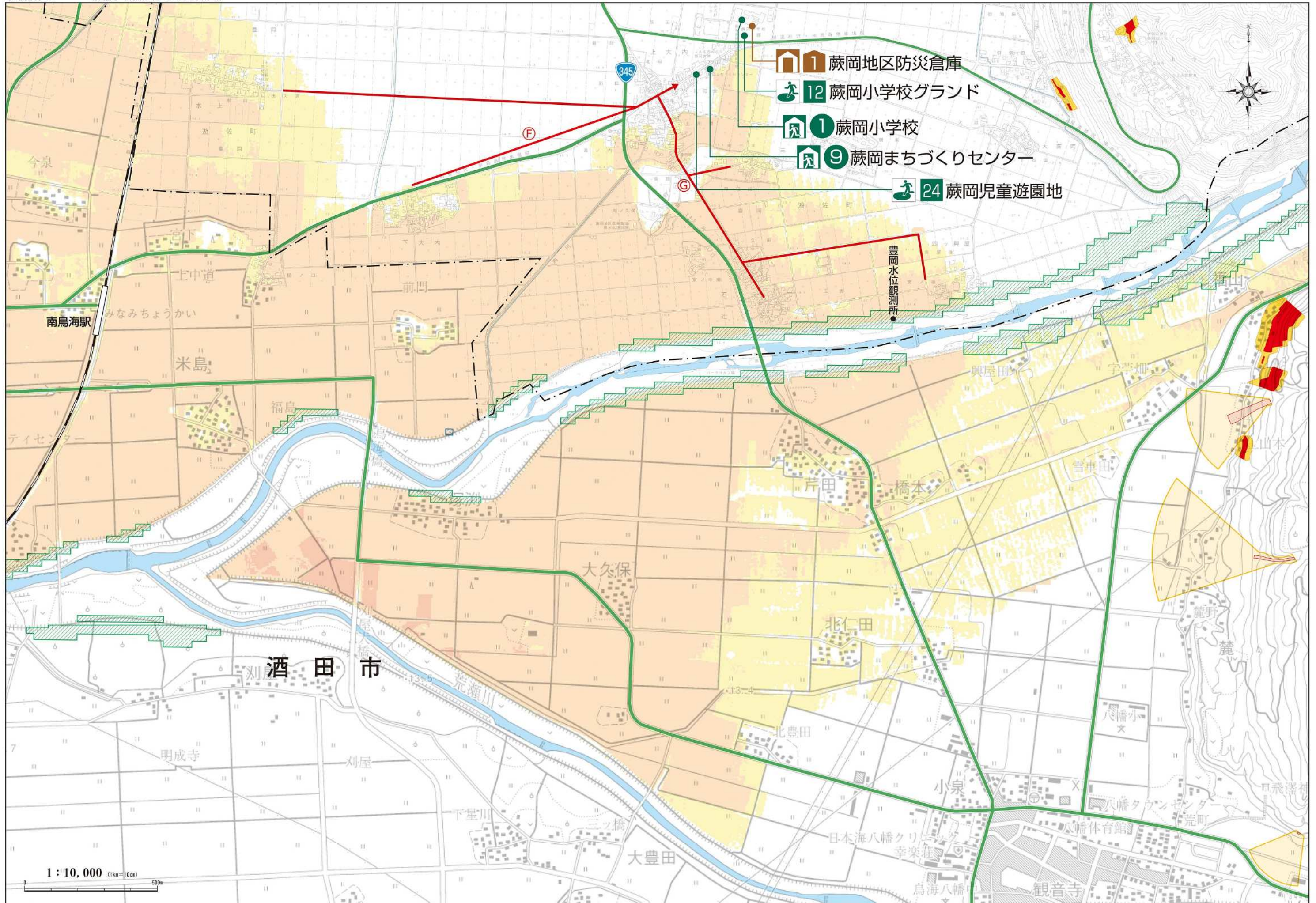
避難行動や避難のタイミングは、個々人がおかれた状況によりそれぞれ異なることに注意してください。

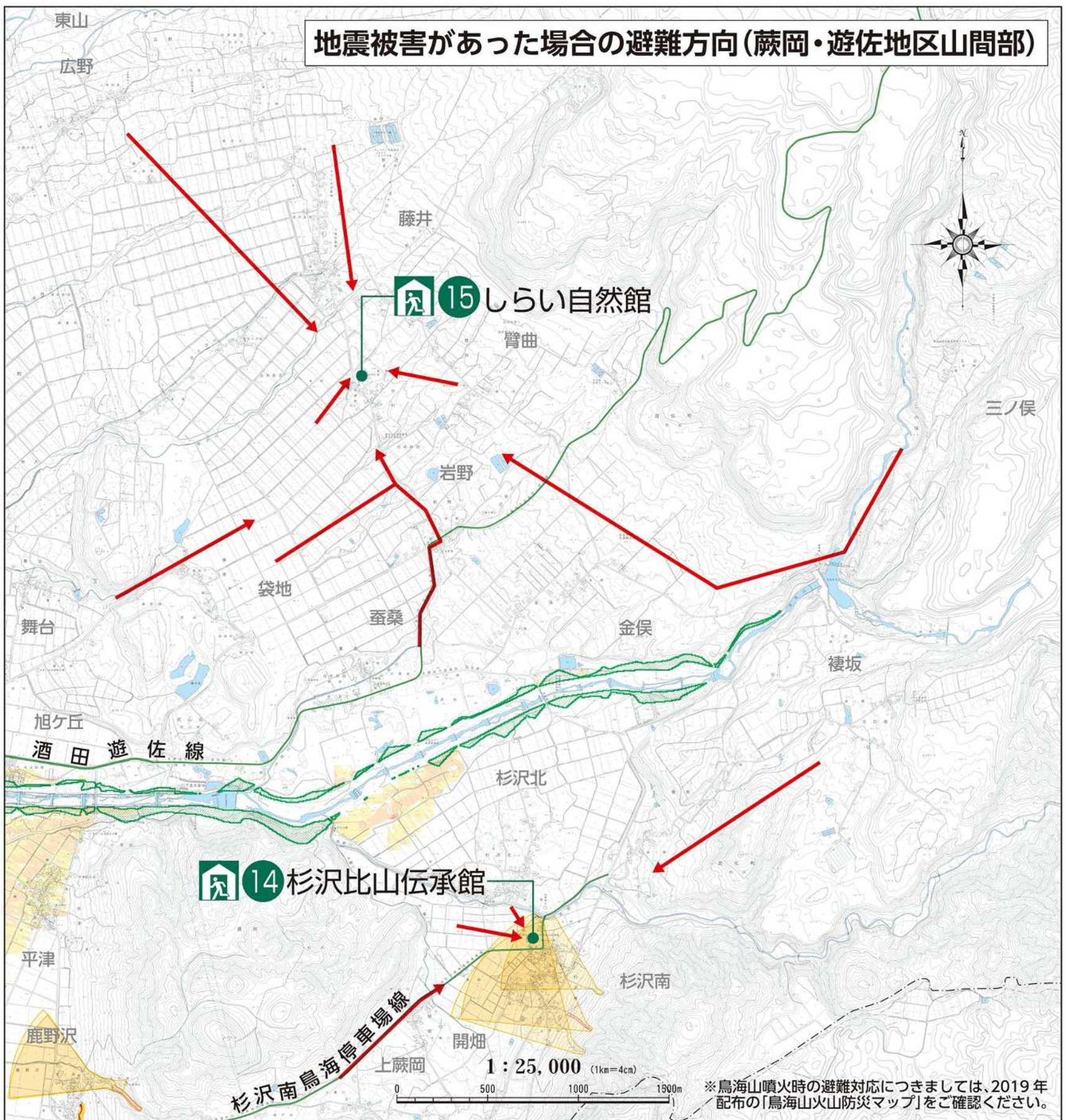
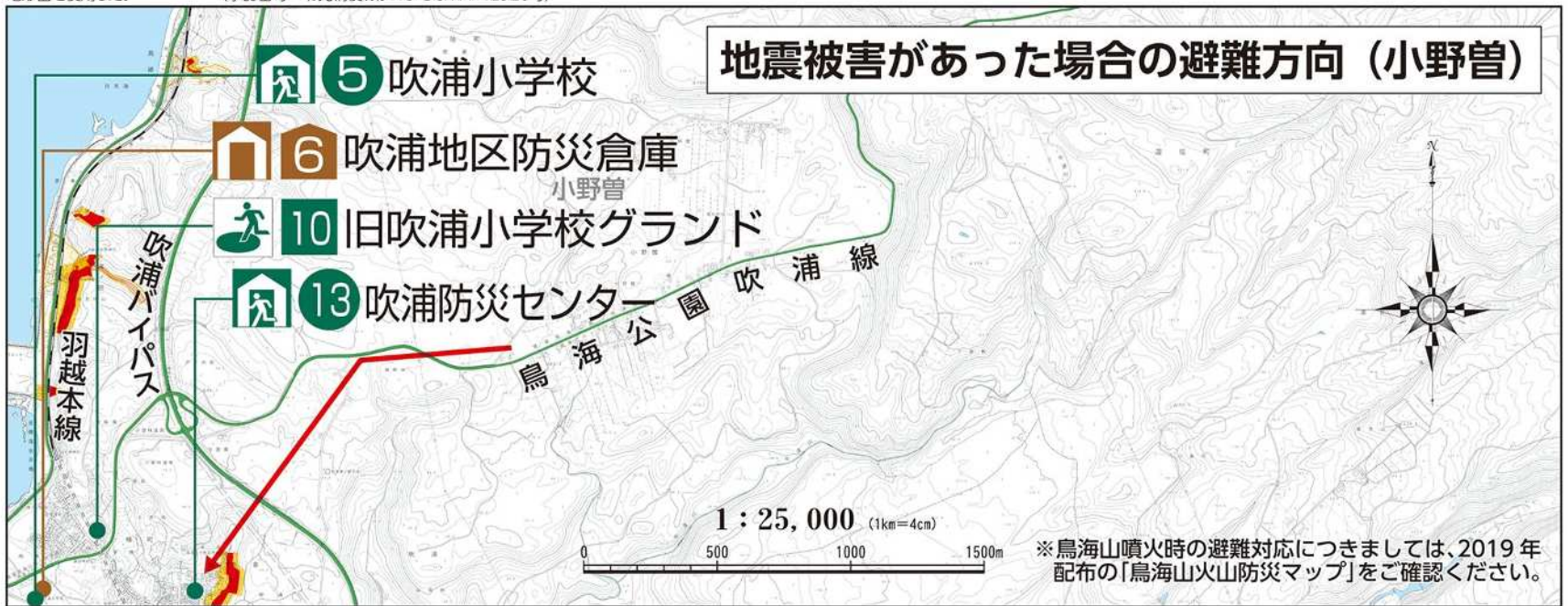








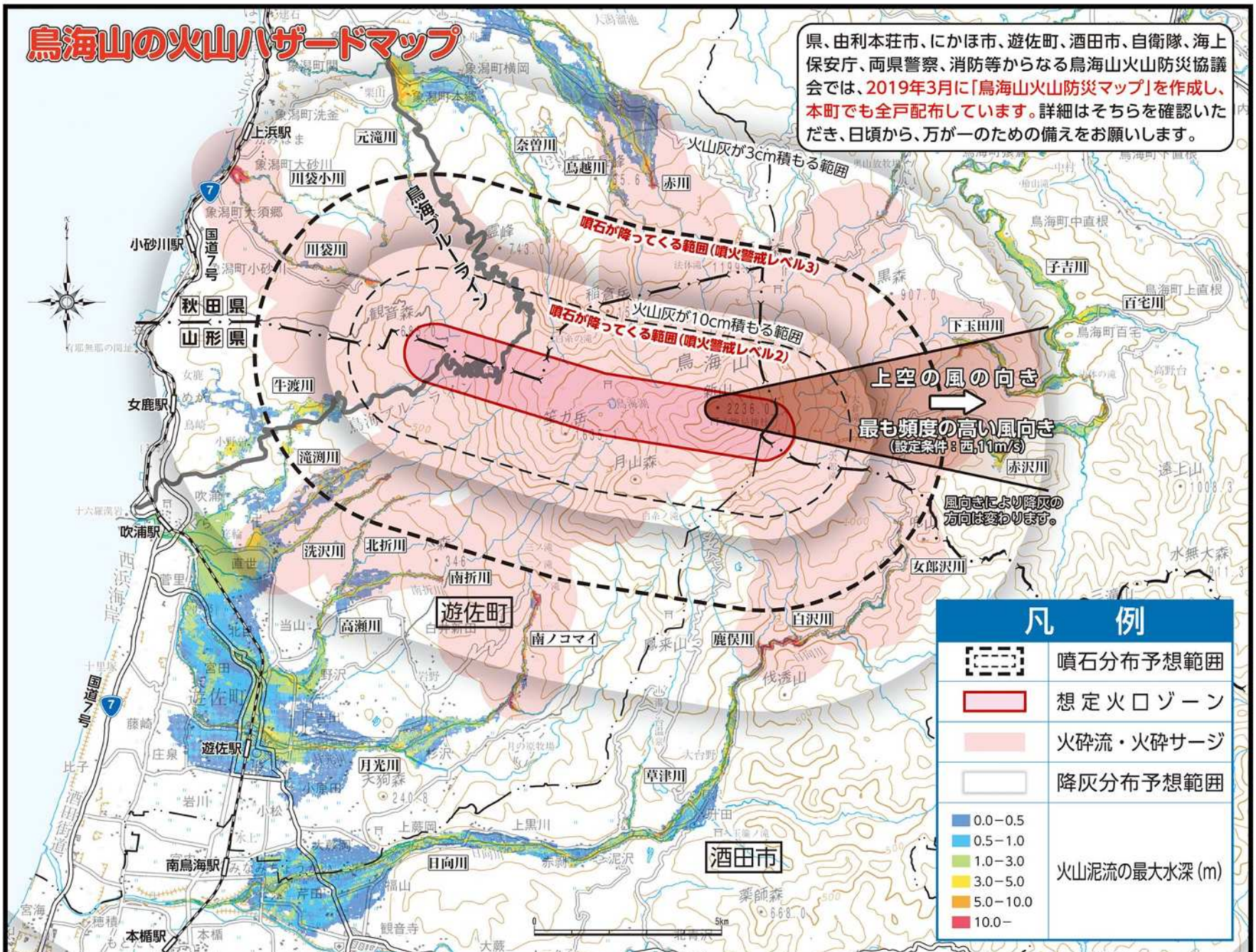




○噴火警報と噴火警戒レベル

鳥海山の噴火時などに危険な範囲や必要な防災対応を、「噴火警戒レベル」としてレベル1～5の5段階に区分しています。この噴火警戒レベルは、噴火警報等でお伝えします。

| 予報警報 | 名称 | 対象範囲 | レベル (キーワード) | 火山活動の状況 | 住民等の行動及び登山者 入山者等への対応 | 想定される現象等 |
|------|------------|---------------|-----------------|---|--|--|
| 特別警報 | 噴火警報(居住地域) | 居住地域及びそれより火口側 | 5 (避難) | 居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。 | 危険な居住地域からの避難等 | ●噴火により火砕流・火砕サージ、火口噴出型泥流、融雪型火山泥流が居住地域に影響を及ぼす、または切迫している。 過去事例 1800～04年の噴火:新山形成、火砕物降下、噴石、泥流、死者8名 |
| | | | 4 (避難準備) | 居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まっている)。 | 警戒が必要な居住地域で避難準備等が必要 要配慮者及び特定地域の避難等が必要 | ●噴火により火砕流・火砕サージ、火口噴出型泥流、融雪型火山泥流が居住地域に影響を及ぼすことが予想される。 過去事例 該当事例なし。 |
| 警報 | 噴火警報(火口周辺) | 火口から居住地域近くまで | 3 (入山規制) | 居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。 | 火口から居住地域近くまでの範囲への立入規制等 状況に応じて要配慮者の避難準備等、特定地域の避難等が必要 住民は通常の生活 | ●噴火により大きな噴石が火口から概ね4kmの範囲内、火砕流・火砕サージが居住地域の近くまで影響を及ぼす、または予想される。 過去事例 1740～47年の噴火:噴煙多量、硫黄化合物が川に流入し、水田・川魚に被害 1974年の噴火:火砕物降下、泥流 |
| | | | 2 (火口周辺規制) | 火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。 | 火口周辺への立入規制等 状況に応じて特定地域の避難準備等が必要 住民は通常の生活 | ●噴火により大きな噴石が火口から概ね1.5kmの範囲内に影響を及ぼす、または予想される。 過去事例 該当事例なし。 |
| 予報 | 噴火予報 | 火口内等 | 1 (活火山であることに留意) | 火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。 | 状況に応じて火口内への立入規制等 | ●火口内で噴気や火山ガス等が発生 |



避^{【ひなん】}難

安心・安全に避難するための心得!!
安全に避難する!



情報伝達

遊佐町における災害情報の伝達方法、ご自分で情報を得る方法を確認し、積極的に情報収集をお願いします。

〈 遊佐町の情報伝達方法 〉

- ① **防災行政無線**
屋外スピーカー、避難所等に設置されている子局、各集落区長宅やポンプ車庫設置の戸別受信を使用して、サイレンと音声でお知らせします。
- ② **緊急地震速報・エリアメール**
遊佐町内において、お持ちの携帯電話等に、警告音と共に電子メールを一斉配信してお知らせします。
- ③ **町ホームページ**
注意喚起情報、避難等の災害対応情報を町ホームページに掲載します。
町ホームページアドレス:
<http://www.town.yuza.yamagata.jp/>
※トップ画面をご覧ください。
- ④ **消防団による広報**
状況に応じて各地区消防団が消防車両で広報します。

〈 ご自分で情報を得る方法 〉

- ① **テレビ・ラジオ**
ニュースや地上デジタル放送のdボタンで、気象庁からの情報や町の災害対応情報等の取得が可能です。
- ② **インターネット**
町ホームページに、各災害情報を取得できる国・県の防災情報サイトへのリンク先を掲載しています。また、民間業者のサイト・アプリを活用して、閲覧や事前登録によるメール配信での情報取得も可能です。
【防災情報サイト一覧】
http://www.town.yuza.yamagata.jp/ou/somu/kikikanri/bousai_link.html
【鳥海山火山情報サイト一覧】
http://www.town.yuza.yamagata.jp/ou/somu/kikikanri/volcano_info.html
※両一覧とも、町ホームページトップ画面の「防災情報」から閲覧できます。

災害発生! 命を守るには避難の判断とタイミングが重要!!

災害が起きた場合、避難の判断によって生死が分かれることがあります。テレビやラジオ、行政などからの情報、自分の目と耳で確かめた状況をもとに、避難の判断とタイミングを決めましょう。判断を人任せにせず、「まだ大丈夫」「誰も避難していないし…」という誤った自己判断はやめましょう。

現在地の状況や情報(被災状況・避難指示など)を確認

〈 避難に関する情報 〉

避難準備・高齢者等避難開始

避難に時間を要する人(高齢者、乳幼児等)と、その支援者は避難を開始しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。

避難勧告

速やかに避難場所へ避難しましょう。

※外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。

避難指示(緊急)

まだ避難していない人は、緊急に避難場所へ避難しましょう。



風水害(洪水・土砂災害・高潮)、火山噴火などの場合

危険度の切迫度に応じて、上記の「避難に関する情報」を町が発令



津波の場合

津波の場合、津波到達まで時間的猶予がなく、避難を強く呼びかけるため、「避難指示」を発令



避難対象地域や避難場所を確認し、避難

町から発令される避難情報を確認して避難場所・避難所のほか、危険の及ばない場所(知人宅など)へ避難



「より遠く」、 「より高い場所」へ避難

津波浸水予測地域からの退避、又は津波避難ビルなどの高い場所へ避難

自宅に被害があり、生活できない場合



避難所に避難

災害によって住居を失ったり、避難を余儀なくされた方たちが「避難生活を行う所」です。



避難所での生活は?

- 体育館での共同生活になります。
- お風呂はありません。
- ベッド・ソファーなどはありません。
- 食事(非常食)などの配給は、並んで順番に配られます。

- お年寄り、子ども、女性に配慮し、お互いに助け合いましょう。
- 服用している薬は自分で用意しましょう。
- 備蓄品は最低限しかありませんので、必要なものは自分で用意しましょう。

ルールとマナーをちゃんと守ろうね!

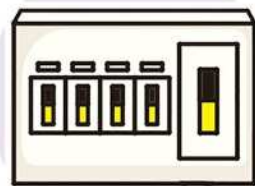


いざ避難！ 避難するときの注意点って何??



ガスの元栓を閉める

ガス爆発の危険があるため、ガスの元栓を閉めましょう。



ブレーカーを落とす

停電しているときでも必ずブレーカーを落としてから避難してください。



連絡・メモを残す

安否情報、連絡先などのメモを残しましょう。

ヘルメット、防災頭巾などで頭を保護

持ち出し品はリュックがオススメ

携帯ラジオ、ホイッスルなどがあると便利

軍手や革手袋などで手を保護

靴は底の厚い履きなれたものを



避難は徒歩で、2人以上が望ましい

特別な事情を除き、避難は徒歩が原則です。

避難時の服装

荷物は少なく、動きやすい服装で



指示にしたがう

避難誘導者がいる場合は、指示にしたがいましょう。

要配慮者への思いやりを!!

高齢者や障がい者、傷病者、幼児、妊産婦、外国人、旅行者などは避難に時間がかかったり、情報や状況を迅速に把握できない場合があります。日頃から近所の要配慮者に気を配り、災害時には地域で協力しあって支援しましょう。



高齢者・傷病者

- 正しい情報を伝える。
- 不安を取り除くように声をかける。
- 手を貸したり、おぶって避難



障がい者

- 介助の手助けを
- 耳が不自由な方には、筆談や身振りに対応



妊産婦・幼児

- 手荷物を持つ等の手助けを
- 子どもがはぐれたり、ケガをしないよう気にかける。

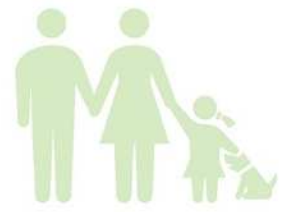


外国人

- 正しい情報を伝える。
- 言葉が通じない場合は身振りや絵で会話を

備【そなえ】え

いざというときに慌てない!!
日頃から災害に備える!



コミュニケーションを図って備える!!

自宅編



災害はいつ起きるかわかりません。
いざというときに慌てないよう家族で防災会議を開き、
日頃から防災意識を高めることが大切です。

自分の身を自分で
守ることを「自助」
っていうんだよ



役割分担を決める!



火を消す人、非常持ち出し品を管理する人など、災害時の役割分担を決めましょう。また、電気のブレーカーやガスの元栓の位置、消火器の位置と使い方などの確認も忘れずに。

連絡方法や集合場所を決める!



災害時に家族が一緒とは限りません。家族がバラバラになったときの連絡方法や、集合場所などを具体的に決めておきましょう。

裏表紙に記入しましょう

避難所を確認しておく!



自宅から避難所まで歩いてみましょう。避難ルートに危険な箇所がないかなどを確認しておきましょう。

ハザードマップで確認を

地域編



災害が発生した場合、町や防災関係機関も被災しています。
地域で力を合わせて助け合い、自分たちのまちは
自分たちで守るという「共助」の考えに基づいて行動することが大切です。

家族や地域で助け
合うことを「共助」
っていうんだよ



ご近所とコミュニケーションを!



災害時には近隣の住民同士の協力が必要です。ご近所との付き合いの輪を広げ、いざというときに助け合いましょう。

防災訓練に参加する!



いざというときのために避難訓練や消火訓練、応急救護訓練などに積極的に参加しましょう。

自主防災組織で話し合おう!



町内会や自治会の集まりなどを利用して、自主防災組織の活動、約束事について話し合いましょう。日頃の活動やコミュニケーションが災害に強い地域づくりにつながります。

避難施設等一覧表 (マップ上の避難場所・避難所・防災倉庫とあわせて確認してください。)

避難場所・津波避難場所・津波避難ビル (一時的な避難先として利用できる施設・場所)

| No. | 施設名 | 住所 | 主な対象集落・地区 | 対象とする災害の種類 | | | | | | |
|-----|-----------------|--------------------|-----------------------------|------------|----|-------------------|----|------------|------|------|
| | | | | 津波 | 洪水 | 崖崩れ 土石流 地滑り | 地震 | 大規模な 火事 | 内水氾濫 | 火山現象 |
| 1 | 女鹿農村公園 | 吹浦字女鹿8-3 | 女鹿 | ○ | | | | | | |
| 2 | 龍泉寺 | 吹浦字滝ノ浦2 | 滝ノ浦・鳥崎 | ○ | | | | | | |
| 3 | 十六羅漢駐車場 | 吹浦字西楯 | 横町、観光客 | ○ | | | | | | |
| 4 | 海禅寺 | 吹浦字横町54 | 横町・宿町 | ○ | | | | | | |
| 5 | 鳥海山大物忌神社吹浦口ノ宮本殿 | 吹浦字布倉1 | 横町・宿町・布倉 | ○ | | | | | | |
| 6 | 物見峠 | 吹浦字物見峠66付近 | 宿町 | ○ | | | | | | |
| 7 | 鳥海橋北側国道7号線 | 吹浦字堂屋 | 宿町・石淵 | ○ | | | | | | |
| 8 | 鳥海温泉遊楽里 | 吹浦字西浜2-76 | 海水浴場、吹浦港キャンプ場 | ○ | | | | | | ○ |
| 9 | 森の公園遊ポット | 菅里字菅野地内 | 西浜 | ○ | | | | | | ○ |
| 10 | 旧吹浦小学校グラウンド | 吹浦字西楯23-6 | 吹浦 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 11 | 西山松林 | 菅里字菅野～ 藤崎字茂り松地内 | 西浜・十里塚・比子出清水・服 部興野・青塚・白木 | ○ | | | | | | |
| 12 | 蕨岡小学校グラウンド | 豊岡字花塚29-1 | 蕨岡 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 13 | 遊佐小学校グラウンド | 吉出字和田13 | 遊佐 | | | ○ | ○ | ○ | | |
| 14 | 藤崎小学校グラウンド | 江地字丁才谷地31-4 | 稲川、西遊佐 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 15 | 旧西遊佐小学校グラウンド | 藤崎字千代ノ藤2-2 | 西遊佐 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 16 | 高瀬小学校グラウンド | 当山字堰中瀬25-4 | 高瀬 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 17 | 吹浦小学校グラウンド | 吹浦字西楯9-6 | 吹浦 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 18 | 遊佐中学校グラウンド | 小原田字上川原18-1 | 蕨岡、遊佐 | | | ○ | ○ | ○ | | |
| 19 | 県立遊佐高等学校グラウンド | 遊佐字堅田21-1 | 遊佐 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 20 | 町民スポーツ広場(西側) | 比子字下モ山68-1 | 西遊佐 | | | | ○ | | | |
| 21 | 町民スポーツ広場(東側) | 藤崎字箕垣下114-1 | 西遊佐 | | | | ○ | ○ | | ○ |
| 22 | サンスポーツランド遊佐 | 小原田字北川原18-1 | 蕨岡、遊佐 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 23 | 菅里広場 | 菅里字菅野7-1 | 高瀬 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 24 | 蕨岡児童遊園地 | 豊岡字乳母懐39 | 蕨岡 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 25 | 遊佐児童遊園地 | 遊佐字田子1 | 遊佐 | | | ○ | ○ | ○ | | |
| 26 | 野沢農村公園 | 野沢字上ク子添105-1 | 遊佐 | | | ○ | ○ | ○ | | |
| 27 | 遊佐町総合運動公園 | 増穂字大坪21-2 | 稲川 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

※上記のほか、各自治会で決めている一次避難場所もありますので、確認しておきましょう。

避難所 (避難の長期化にも対応できる施設)

| No. | 施設名 | 住所 | 電話番号 | 主な対象集落・地区 |
|-----|--------------|-------------|---------|-----------|
| 1 | 蕨岡小学校 | 豊岡字花塚29-1 | 72-2241 | 蕨岡 |
| 2 | 遊佐小学校 | 吉出字和田13 | 72-2029 | 遊佐 |
| 3 | 藤崎小学校 | 江地字丁才谷地31-4 | 76-2133 | 稲川、西遊佐 |
| 4 | 高瀬小学校 | 当山字堰中瀬25-4 | 72-2206 | 高瀬 |
| 5 | 吹浦小学校 | 吹浦字西楯9-6 | 77-2504 | 吹浦 |
| 6 | 遊佐中学校 | 小原田字上川原18-1 | 72-2820 | 蕨岡、遊佐 |
| 7 | 県立遊佐高等学校 | 遊佐字堅田21-1 | 72-3422 | 遊佐 |
| 8 | 遊佐町生涯学習センター | 遊佐字鶴田52-2 | 72-2236 | 遊佐 |
| 9 | 蕨岡まちづくりセンター | 豊岡字下和田31-3 | 72-2231 | 蕨岡 |
| 10 | 稲川まちづくりセンター | 増穂字大坪25-2 | 76-2110 | 稲川 |
| 11 | 西遊佐まちづくりセンター | 藤崎字千代ノ藤2-2 | 75-3822 | 西遊佐 |
| 12 | 高瀬まちづくりセンター | 当山字上山崎17-4 | 72-2937 | 高瀬 |
| 13 | 吹浦防災センター | 吹浦字布倉10-1 | 77-2503 | 吹浦 |
| 14 | 杉沢比山伝承館 | 杉沢字中田1 | 72-2233 | 蕨岡 |
| 15 | しらい自然館 | 白井新田字見晴野21 | 72-2069 | 遊佐 |
| 16 | 町民体育館 | 遊佐字鶴田29-2 | 72-5454 | 遊佐 |
| 17 | 遊佐保育園 | 遊佐字五所ノ馬場4-1 | 72-2248 | 遊佐 |
| 18 | 藤崎保育園 | 増穂字西田96 | 76-2008 | 稲川、西遊佐 |
| 19 | 遊佐町防災センター | 遊佐字舞鶴211 | 72-3311 | 遊佐 |

福祉避難所

災害発生時に一般の避難所での生活が困難な高齢者、障がい者、妊産婦、乳幼児等の特別な配慮を必要とする方を受け入れる施設です。必要に応じて開設される二次的な避難所のため、**最初から避難所として利用することはできません。**

| No. | 施設名 | 住所 | 電話番号 |
|-----|------------------------|--------------|---------|
| 1 | 特別養護老人ホーム 松濤荘 | 菅里字菅野南山7-1 | 76-2103 |
| 2 | 山形県立吹浦荘 | 菅里字菅野南山21-14 | 76-2516 |
| 3 | 障がい者支援施設 月光園 | 当山字上戸8-1 | 72-5611 |
| 4 | 特別養護老人ホーム ゆうすい | 遊佐字木ノ下2 | 71-2133 |
| 5 | 地域密着型小規模特別養護老人ホーム にしだて | 吹浦字西楯23-9 | 71-6061 |
| 6 | 遊佐町子どもセンター | 遊佐字広表6-8 | 72-5858 |

防災倉庫 (非常食等の災害用備蓄品保管場所)

| No. | 施設名 | 住所 |
|-----|-----------|-------------------------------|
| 1 | 蕨岡地区防災倉庫 | 豊岡字花塚29-1 (蕨岡小学校敷地南西側) |
| 2 | 遊佐地区防災倉庫 | 吉出字松葉7-5 (消防署遊佐分署西側) |
| 3 | 稲川地区防災倉庫 | 増穂字大坪25-2 (稲川まちづくりセンター敷地南側) |
| 4 | 西遊佐地区防災倉庫 | 藤崎字千代ノ藤2-2 (西遊佐まちづくりセンター敷地南側) |
| 5 | 高瀬地区防災倉庫 | 当山字堰中瀬25-4 (高瀬小学校敷地北側) |
| 6 | 吹浦地区防災倉庫 | 吹浦字西楯9-6 (吹浦小学校敷地北側) |

わが家の防災メモ

いざという時に備えて、
家族で確認しておきましょう



わが家の
避難施設

家族の
集合場所

※詳細に

| 家族の名前 | 生年月日 | 血液型 | メモ (病症・病歴、携帯電話番号など) |
|-------|------------------------|------------------|---------------------|
| | 大・昭・平・令 年 月 日 | 型 Rh(+ / -) | |
| | 大・昭・平・令 年 月 日 | 型 Rh(+ / -) | |
| | 大・昭・平・令 年 月 日 | 型 Rh(+ / -) | |
| | 大・昭・平・令 年 月 日 | 型 Rh(+ / -) | |
| | 大・昭・平・令 年 月 日 | 型 Rh(+ / -) | |

●緊急時連絡先

役場

| No. | 施設名 | 住所 | 電話番号 |
|-----|------------|----------|--------------|
| 1 | 遊佐町役場 (代表) | 遊佐字舞鶴211 | 72-3311 (代表) |

消防

| No. | 施設名 | 住所 | 電話番号 |
|-----|------------|----------|---------|
| 1 | 酒田消防署 遊佐分署 | 吉出字境田6-1 | 72-4100 |

警察

| No. | 施設名 | 住所 | 電話番号 |
|-----|--------------|------------|---------|
| 1 | 酒田警察署 遊佐交番 | 遊佐字舞鶴204 | 72-3322 |
| 2 | 酒田警察署 藤岡駐在所 | 豊岡字下和田33-1 | 72-2404 |
| 3 | 酒田警察署 西遊佐駐在所 | 藤崎字一ノ坪11-3 | 76-2303 |
| 4 | 酒田警察署 高瀬駐在所 | 北目字楯ノ内23 | 72-2343 |
| 5 | 酒田警察署 吹浦駐在所 | 吹浦字赤坂62 | 77-2510 |

非常備蓄品・持ち出し品の準備を

「非常備蓄品」とは、外部からの救援物資などが届くまでの数日間を自足できるように準備しておくものです。

最低3日以上、できれば1週間分程度は自分で対処できるよう準備をしておきましょう。この備蓄品とは別に、避難する際に必要最低限のものをすぐ持ち出せるように袋に入れて用意しておくのが「非常持ち出し品」です。

どちらも家族構成などを考えて、必要な分を準備しておくようにしましょう。

▶ 非常備蓄品チェックリスト

- 飲 食 料 品** | 米や簡単な調理で食べられるものを1人最低3日分、水は1人1日3リットル
- 食 器 ・ 箸 類** | 箸・スプーン・紙コップ・紙皿など、食品用ラップやアルミホイルは皿代わりに使えます。
- カセットコンロ** | 電気で点火するコンロは避け、予備のガス缶も用意しましょう。
- 生 活 用 水** | 断水に備え、ポリタンクや浴そうに水道水をためておきましょう。
- 衛 生 用 品** | ウェットティッシュ、ドライシャンプー、除菌用アルコールなど
- 照 明 用 具** | マッチ・ろうそく・ライター・ランタンなど持ち運びができ、すぐに点火できるもの



▶ 非常持ち出し品チェックリスト

- 貴 重 品** | 現金・預金通帳・キャッシュカード・印鑑・健康保険証・運転免許証など
- 避 難 用 具** | 懐中電灯・携帯ラジオなど、予備の電池も忘れずに用意しましょう。
- 救 急 用 具** | 絆創膏・包帯・消毒液・常備薬・持病薬、おくすり手帳も忘れずに
- 非 常 食** | 乾パンや缶詰など火を使わなくても食べられるもの、アレルギー対応食なども
- 飲 料 水** | 持ち運びできるペットボトル入りのもの
- 生 活 用 品** | 洗面道具・ティッシュ・携帯用トイレ・生理用品・万能ナイフ・ビニール袋・軍手・メガネなど
- 衣 料 品** | 下着・靴下・長袖・長ズボン・雨具など、季節によっては防寒具も用意しましょう。

両手が使える
リュックサック
が便利!!



赤ちゃんや高齢者のいる家庭は必要に応じてプラス+

- 粉ミルク・ほ乳びん
- ベビーフード・おやつ
- 紙おむつ・おしりふき
- 絵本・おもちゃ
- 簡易トイレ
- 大人用紙おむつ
- 介護用品
- 予備のメガネや補聴器 など